



碧南ロータリークラブ週報

第3070回例会 令和5年10月18日(水)

- 会長 角谷 信二
- 幹事 杉浦 栄次
- 会場監督(SAA) 岡島 晋一

2023-2024 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



世界に希望を生み出そう

- 会報委員 長田一希・牧野勝俊・杉浦秀延

● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

一般社団法人碧南青年会議所 理事長 竹中瑛智様
 〃 専務理事 杉浦正稔様

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。本日も例会へのご出席ありがとうございます。

例会前に岡本耕也君よりご挨拶がございました。クラブからの心付けは辞退したいということでしたが、無理やり受け取っていただいたところ、本人の強い意思で「ニコボックスに入れてください。」ということでございますので、ニコボックスへ入れさせていただきます。

先週、親睦活動委員会さんと時を同じにすることがございまして、本日、欠席されております鉄村さんは熱血タイガースファンだそうで、仕事もお休みして甲子園球場に行っているということでございます。まずないですけれども、顔が映ったら、鉄村さんがおるなあと思っただきたいと思います。

ちょっと話は変わりまして、今日は皆様方の心の疲労度がわかる心理テストということで、この絵が何に見えますでしょうか。

1. サンドイッチ
2. すべり台



角谷信二会長

3. 積み木

4. はんぺん

皆さん、頭に思い浮かべてください。

1 番のサンドイッチに見えた方は、心の疲労度が 20%。このタイプの方は、好奇心旺盛でエネルギッシュな人かもしれません。現在はそうした心の赴くままに自由に動ける環境に恵まれているのではないのでしょうか。その為、日々の暮らしに充実感があり、心の疲労度も低い状態で維持できているのかもしれません。適度な肉体的な疲れは、心の健康に必要な場合があります。特にエネルギッシュなあなたが心の疲労を溜めない為には、程よく忙しく、刺激にあふれた毎日を送ることが大切かもしれません。

2 番のすべり台に見えた方は、心の疲労度が 40%。このタイプの方は、平和主義で穏やかな日常を望む人かもしれません。現在は仕事などで疲れることがあっても、家族や気の置けない友人に頼れる環境があるのではないのでしょうか。その為、心の疲労度も比較的低い状態で維持できているのかもしれません。気疲れすることも多いのではないのでしょうか。オンからオフに切り替えられる場所や人をいつも確保しておくことが大切かもしれません。

3 番の積み木に見えた方は、心の疲労度が 80%。このタイプの方は、繊細で自分のペースや世界が大切な人かもしれません。ですが、現在は否応なしに人と会ったり、周囲に合わせたりしなくてはいけない環境にあるのではないのでしょうか。その為、心の疲労度もかなり高まっているのかもしれません。1 人の時間を持つことがなにより大切なのではないのでしょうか。とことん心を休める時間を大切にしてみてもいいのではないでしょうか。

4 番のはんぺんに見えた方は、心の疲労度が 60%。このタイプの方は、真面目で努力家な反面、打たれ弱い人かもしれません。現在はそうした頑張りが思うように評価されない環境にあるのではないのでしょうか。その為、心の疲労度も比較的高い状態が続いているのかもしれません。定期的に自信を回復させることが大切かもしれません。評価してくれる友人や同僚、上司や恩師などと会い、励ましの言葉をかけてもらうことで心の疲労回復につながるのではないのでしょうか。

皆さんはどのタイプでしょうか。本日もよろしくお祈りします。

幹 事 報 告

幹事報告を申し上げます。

- ・ 第 4 回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 春日井 RC より「55 周年記念講演会のご案内」が届いております。



杉浦栄次幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 63 名 (内出席免除者 14 名の内出席者 9 名) 出席者 48 名	
出席対象者 48/58 名	出席率 82.76%
欠席者 15 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- 角谷 信二君 先週 10 月 11 日に親睦活動委員会の皆さんと楽しい時を過ごしました。又やりましょう。
- 清澤 聡之君 てらまち前夜祭、てらまちウォーキング大盛況でした。みなさまありがとうございました。
- 竹中 誠君 六番目の孫 (男) が誕生しました。息子の卓話はとても聞いておれません。皆さん我慢して聞いてやって下さい。
- 杉浦 保子君 過日は、親睦活動委員会さんありがとうございました！！
- 鈴木きよみ君 第 22 回大浜てらまちウォーキングで、当社が清澤聡之様に大変お世話になり、ありがとうございました。
- 岡本 耕也君 ご案内の通り、母の葬儀を無事終える事ができました。生前中は皆様にお世話になり、ありがとうございました。
- 貝田 隆彦君 先日は、当委員会に会長様、幹事様のご出席をいただき、誠にありがとうございました。
- 石川 鋼勇君 本日の卓話講師、一般社団法人碧南青年会議所 2023 年度第 67 代理事長 竹中瑛智様を紹介させていただきます。
- 小林 清彦君 先週の 10 月 14 日 (土)、NHK の朝のニュース番組「おはよう日本」で、9 月に取り上げられた病院食の問題が放映されました。顔バレしたので、国内ではおとなしく過ごします。
- 先日、木村徳雄さんに大変楽しい時間をいただきました。
- 石川 昌樹君 }
長松 政孝君 }
榊原 靖浩君 }
倉内 松雄君 }
神谷 領伸君 }
- 会長 角谷信二さん、幹事 杉浦栄次さん、親睦活動委員会 貝田隆彦委員長、10 月 11 日委員会後の懇親会では、大変お世話になりました。

「碧南 J C 26 年ぶりの愛知ブロック協議会会長輩出と現況」

一般社団法人碧南青年会議所 理事長 竹中瑛智様



竹中瑛智様

皆様、こんにちは。

まずは本日、碧南 RC の卓話ということで、お招きいただきましてありがとうございます。そして、日頃は碧南青年会議所メンバーが皆様には大変お世話になっていることが多々あるかと思えます。ありがとうございます。

私は先程ご紹介いただきました通り、本年度、碧南青年会議所の第 67 代理事を務めております竹中瑛智と申します。1984 年 8 月に竹中誠の息子としてこの碧南の地に生を受けまして、本当にいつも父がお世話になっております。普段、会社によくいるんですが、ロータリーの日になると「今日はロータリーがある。行ってくる。」と言って、嬉しそうに出ていく姿が本当に印象的でございまして、本当に感謝しかございません。ありがとうございます。

私は碧南で生まれて碧南で育ったということで、本当に碧南が大好きでございまして、結婚してからもやはり碧南に住んでおりまして、無事に子供も 3 人生まれた訳ですが、JC に入会する前に結婚して、1 人目が生まれて、毎日仕事をして帰って、家族との時間を過ごして子供の笑顔を見て、幸せだなあという日々を送っておりました。そういった日々の中で、毎日仕事をして帰ってきて、家でゴロゴロして子供と過ごして、幸せなんだけれどもこのままで良いのかなあというような思いがありまして、子供の為に何かできないかなあと思った時に JC に誘われていたことを思い出しまして、ちょっと話を聞いてみようということで、話を聞いて入会したというのがきっかけでございます。

そして、入会して今年でもう 6 年目なんですけれども、本当に色々な方と出会って、色々な経験をして、本当に多くの学びがありました。ただ、入会した時にまさか自分が理事長をやることになるとは全く想像もしておりませんでした。理事長をやることと決めた時に私が誰にも負けないものは何だろうなあと思ひまして、それはやっぱり地元愛ということで、碧南をより良くしたいという思いを持って 1 年間活動したいということから、本年度の碧南青年会議所は「誰が為こそが 我が為に ～まちに誇りを 自分に誇りを 誇りある人生を～」というスローガンを掲げさせていただいております。JC は本当に色々な活動をしておりまして、作業になりがちなどころがあるんですが、やはりそういった強い思いを持って全メンバーが活動をして欲しいなあという思いを込めてこのスローガンで本年度は邁進しているといったところでございます。

私のお話はこれぐらいに致しまして、本日のお題に入っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。本日のお題は「碧南 J C 26 年ぶりの愛知ブロック協議会会長輩出と現況」になります。皆様方の中には JC の OB となる先輩方が沢山いらっしゃると思ひますが「JC って何なの？」というところもあると思ひますので、少し JC について説明させていただきたいと思ひます。ただ、これはあくまでも私から見た JC ですので、そう思っ

だけたらと思います。

JCとは、明るい豊かな社会の創造を目的に活動する団体になります。しかし、何をもって明るい豊かな社会と言えるのかというのが、その時代で違うというところで、目的達成に向かう道は毎年正解なんてものはない中で、その時代に合わせて向かう先を理事長が決めて、全メンバーが一丸となって道を作り進むということの繰り返しがJCになっております。目的は変わりませんが、目的地とルートは時代に合わせて変化していくということです。そんなJCですが、世界的な組織となっておりますので、日本では各地に青年会議所があり、県ごとにブロックとして協議会があり、更に東海地区、関西地区といった地区があり、それらを全てまとまりとして日本青年会議所があるという形になっております。そもそも、各地の青年会議所からの出向者でブロックも地区も日本青年会議所も成り立っているということになります。そこで本年度は碧南より日本青年会議所へ1997年以来、26年ぶりに愛知ブロック協議会会長を輩出できる年となった訳ではございますが、やはり大きな担いであります。碧南青年会議所内部でも様々なことがありました。色々な立ち位置からお話できると良いのですが、今日は基本的に私の立ち位置からの話となりますので、よろしくお願い致します。

始まりは2021年の冬になります。当時、碧南青年会議所からは愛知ブロック協議会副会長を輩出するという事で、私は碧南で副理事長を務めつつ、副会長補佐として2022年度のスタートダッシュを決められるように副会長をサポートしておりました。そんな中、2023年度は愛知ブロック協議会の会長を輩出できるかもという話が耳に入ってまいりました。

そして時は過ぎまして2022年の2月、碧南から愛知ブロック協議会の会長を排出できるかもという状態のままでございました。そんな状態ではございましたが、私は2023年度の理事長に立候補しようと思いを決めて、地域課題を調査して、今の碧南青年会議所はどういう状態だろうということを思いながら、2023年度の所信表明の内容と組織図を考え始めました。

更に時は過ぎまして2022年4月、杉浦晴太郎君より電話があり「愛知ブロック協議会の直前会長に呼ばれたので、理事長と江南へ行ってきます。竹中君は2023年度の理事長を志す人なので、伝えておきます。」と言われ、いよいよ愛知ブロック協議会会長の輩出確定が近いのだと思いました。その後「決まりました。」と電話がありました。2023年度の会員数が新入会員を抜いたら24名という状態で、既に人数ギリギリの組織案まで考えてあったので、私は愛知ブロック協議会の出向に何名もっていかれるのかなあということが正直頭をよぎったのが事実でございます。しかし、こんな機会も滅多にない、これは飛躍のチャンスでもあるとも私は考えました。そう考えたのですが、当時の碧南青年会議所の状態はこうでした。3分の2が入会4年未満。愛知ブロック協議会会長を輩出するという話があった段階では、入会から2年未満だったメンバーが多数ということです。更に平均在籍年数が4年を切るほど近年は遅くに入会する人が増え、JCを深く理解することなく卒業してしまうという状況も手伝いまして「そもそも出向って意味があるのか。大変なだけだろう。やりたい奴がやっとけよ。」といった空気がLOM内にはありました。

そんな空気も感じつつ、愛知ブロック協議会会長予定者の杉浦晴太郎君と当時の理事長であった鈴木将大君、そして、現役会員で歴代理事長の小城康裕君と対面し「愛知ブロック協議会会長を輩出するのであれば、碧南からブロック3役の運営専務、事務局長、財政局長を出

せるなら出したいと思いますが、現状の碧南で出せそうですか？」と相談されました。私は「現状で出せるとしたら、歴の長いメンバーが受けてくれたら良いんじゃないですかねえ。」と答えました。そこで、まずは歴の長いメンバーに声を掛けることになりましたが、それぞれ理由があって断られてしまいました。その後、中堅メンバーにも声を掛けてみましたが、断られてしまいました。その時点で私は碧南からブロック 3 役を出すのは厳しいのかなあと思っておりました。それと同時に碧南青年会議所内でも愛知ブロック協議会会長輩出確定の話が広まり始め、2022 年度の卒業生からは心配の声や反対の声も聞こえてきました。

そんな状況の中でも、杉浦晴太郎君は決して諦めておりませんでした。彼は「何とか碧南から出せませんかねえ。」とひたすら言うておりました。しかし、中堅以上のメンバーに出向できる人間がおらず、若手には荷が重すぎる、どうしたものかと考えている中で、入会 2 年目でありながら、2022 年度の事務局員として出席率 100%で頑張っていた杉浦慶樹君に白羽の矢が立ちました。杉浦晴太郎君より「本人と一度話をしたい。」との申し出を受け、私は立ち会い人として立ち会うことになりました。立ち会いの日、私は杉浦慶樹君が少しでも不安や悩む素振りを見せたら止めて、碧南からブロック 3 役を出すのを諦めて、西三河エリアの理事長に頭を下げて協力要請しようと思っていましたが、彼は一切の迷いなく「やります。」と答えました。その力強い返答に私は驚きを通り越して感動さえしました。そしてこの時、感動と同時に私はもう全力で応援するのみだなという腹が決まりました。そのままその場で話を続けていると、杉浦慶樹君より「事務局長、財政局長も碧南メンバーだと心強いです。」という言葉が出て、なんと JC 歴の浅い同期 2 名を指名しました。この若き JC の熱い思いを汲まない訳にはいかないと私は思い、杉浦寛喜君と村松卓也君を呼び出しました。彼らも迷うことなく「やります。」と答えました。こんなに JC 歴の浅い若者がやる気があるので、碧南の未来は明るいと思いました。

こうしてブロック 3 役が決まり、ここまで若手がやる気になったことで、こうなったらブロック 3 役の下につく次長も碧南で出すということになりまして、次長を受けたのが、鈴木靖明君、角谷瞬君、森田泰行君です。こうしてブロック役員出向組が固まり、もともと碧南から本年出す予定であったブロックアカデミー委員会の塾長として新美慶太郎君に出向していただき、大出向年度の幕が開けました。

2022 年 8 月に碧南青年会議所では中間総会にて正副監事団予定者が承認され、碧南青年会議所の 2023 年度の準備と並行して愛知ブロック協議会の準備も着々と進み始めました。同月に 2023 年度の愛知ブロック協議会の事務局が開設。その後、9 月の愛知ブロック大会豊川大会では 2023 年度の役員紹介があり、多くの碧南メンバーが頑張っている姿が印象的でした。同日、2023 年度の愛知ブロック協議会会長予定者挨拶を杉浦晴太郎君がバシッと決めてくれまして、その数日後、私は 2023 年度の碧南青年会議所理事長予定者として、所信表明をさせていただきました。その後、2023 年度の活動をスタートダッシュで始める為、碧南も愛知ブロックも慌ただしくしておりましたら、すぐに年末になりました。

いよいよ、碧南青年会議所の 2023 年度がスタートし、新年御祈祷から臨時理事会、更には新年会ということで飲みに飲んだ結果、翌々日にコロナウイルス陽性。新年始まってすぐに陽性になりまして、症状としては軽い喉の痛みのみで、2 日で無症状になったものの 7 日間

自宅待機している間にビッグイベントは大体終わってしまいました。

コロナから回復後、京都会議にて前日入りし、東海地区協議会の会長に挨拶をしました。同月にブロックアカデミー委員会の開講式へ塾長と塾幹事、新入会員を応援しに名古屋へ駆け付けました。2月には名古屋会議の会長挨拶で、杉浦晴太郎君が2023年度の愛知ブロック協議会の目指すところを示してくれました。7月には碧南の魅力発信事業、サマーコンファレンス、元気ッス碧南ということで、慌ただしく時は過ぎました。9月には愛知ブロック大会西尾大会ということで、愛知ブロック協議会会長の挨拶と様々な活動、そして、夜には卒業式が行われました。そして、今月に全国大会東京大会が開催され、今に至るといったところでございます。

今日、皆様にお話しさせていただいたのは、活動のほんの一部であります。我々、青年会議所の活動に終わりはありません。日々、様々な活動を通して、全メンバーが地域のリーダーになり得る人材へと成長し、卒業することはより良い地域、より良い世界を作る為に必要でございます。人生をより豊かなものとする為にも、皆様のご子息、お知り合い、20代、30代の方をご紹介いただければと思います。以上で本日の私の卓話とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和5年11月1日（水）は定款第7条第1節（d）（1）による休会

令和5年11月8日（水）

クラブフォーラム「財団をクラブ活性化に」

地区ロータリー財団委員会 副委員長 猪子恭秀氏